

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和07年06月18日(水)

1. 基本事項

施策		男女共同参画の推進	期間	令和5年～令和9年	施策担当部課名	協働推進部 人権政策課
総合計画	大項目	6 みんなで創る協働のまち	目的・対象			すべての人が、家庭、職場、学校、地域社会などのあらゆる分野において、性別に左右されることなく、自らの意志と選択により参画する機会が備えられた男女共同参画社会の実現を目標とする。
	中項目	1 一人ひとりの個性が尊重されるまちづくり				
	小項目	2 男女共同参画の推進				
	主要プロジェクト					
重要度・満足度	男女共同参画の実現に対する市民の重要度は高くはないが満足度は高い状況となっている。		施策推進のための主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画意識の啓発活動や情報提供を行う。 性別にとらわれない活躍を支援。 あらゆる暴力の根絶に向けた啓発活動。 DV被害者への支援。 		
施策を取り巻く社会状況等	女性の社会参画が進み、さらに活躍が期待される一方で、依然として性別による固定的な役割分担意識が残っている。また、配偶者等に対する暴力については相談内容が複雑化している。					

2. 評価指標

上段は目標値（令和4年度は前期基本計画に基づく目標値、令和5年度以降は後期基本計画に基づく目標値）、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			性別に関係なく家庭・地域・職場で対等な役割分担がされていると思う市民の割合	%	73.00	60.60	63.70	66.80
	深谷市民まちづくりアンケート	%	69.50	58.30	59.80			
	夫婦等で電話・メール等の細かい監視、生活費を渡さないなどが暴力であると思う市民	%	-	81.00	82.00	83.00	84.00	85.00
	深谷市民まちづくりアンケート	%	79.30	82.90	81.50			
成果指標								

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
<p>「性別に関係なく家庭・地域・職場で対等な役割分担がされていると思う市民の割合」は目標値には達しなかったが、前年度より数値は上がった。今後、男女共同参画週間を始め、男女共同参画推進員への情報提供など様々な機会を捉え、性別によって役割を固定されることなくあらゆる分野において男女共同参画が更に促進されるよう啓発活動や講座を開催していく。</p> <p>「夫婦等で電話・メール～暴力であると思う市民の割合」については、目標値に僅かに満たない数値であった。今後もDV週間等に合わせ、パネル展、パープルリボン運動、広報やSNSを含めた啓発を継続し、より効果的な事業となるよう取り組んでいく必要がある。</p>				
		評価者 人権政策課長 引間 瑞枝		

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等
<input type="checkbox"/> 既存事業の拡充	講座を含めた啓発の内容、時期、周知方法を精査し、市民が興味を持ち、参加しやすい内容を検討しながら、継続的に実施していく。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	また、女性の活躍並びにワークライフバランスの推進を図るため、市内事業所や働きたい女性に対する支援や周知啓発を実施する。
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	DV相談に対しても、配偶者に対する暴力の防止のための効果的な啓発、関係機関との連携強化、多様化する被害者支援の強化を実施する。
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価（所属長の見解）

<p>市民の男女共同参画に関する意識を高めていくため第4次深谷市男女共同参画プランに基づき、より効果的、効率的に施策を展開すると共に、引き続き事業所への啓発を実施し、市内事業所との連携を強化していく。</p> <p>また、DV相談については、相談内容が多様化・複雑化しており、深谷市配偶者暴力相談支援センターの適切な運営を図ると共に庁内及び関係機関との連携を強化し、DV被害者への適切な支援を実施していく。</p>	
所属長	協働推進部長 荻塚 洋明